

おとずれ

(発行者) 富士吉田カトリック教会

(住所) 〒403-0005

山梨県富士吉田市上吉田3-5-7

(TEL&FAX) 0555-22-3199

2018年4月第428号 ホームページ <http://www.fgo.jp/~catholic/index.html>

い い よ

教会副委員長 葉山孝夫



もう何年も前の話だが、私が富士聖ヨハネ学園の児童部にいた頃、或る利用者T君が重い病気に罹った。桜町病院（聖ヨハネ会の運営する総合病院）で受診の結果手術が必要との事で、ある都立病院を紹介された。早速T君の母親と一緒にその都立病院に連れて行き受診をした。レントゲンなど各検査の結果医師は「これは直ぐ手術をしなければならない。こんな病気になって可哀そうだ」と言ってから「でも、僕は手術をやらない」と言った。意味が解らないので「何故ですか」と聞く我々に「僕はこういう子の手術をする哲学は持たない。もし、この子の病気が治ったとして、社会に出てバリバリと働くことは出来ますか」と聞かれた。彼は重度の障がい者であった為、「普通のように働く事は出来ないと思う」と答えると「そうですね。そういう子を助ける意味は無い」と言われた。納得が出来ず他の病院も当たってみたが結論は同じであった。最後に行った病院で理解してくれる専門の医師に会い「まだ切らなくても 大丈夫だ。薬で治療しながら様子を見よう」と言われ、「もし桜町病院の先生が又手術が必要だと判断されたら、僕が責任をもって手術をしてあげる」と言われた。その後彼はヨハネ学園より他の施設に移り、そこで短い人生を終えられたと聞いた。

私が川越に有る授産施設（現在で言う就労継続支援B型）で働いていた時、ある利用者が私のところに来て通勤のバスの中で女子高生がY君に向かって「きもいと言っていた」との報告があった。私は直ぐにその高校に行き校長先生に面会し、生徒さんに世の中には色々な人がいる事、その人達も一所懸命に生きている事、人間に優劣はない事等教育してほしいとお願いした。校長先生は直ぐに対応すると約束され、その生徒に謝りに行かせるとの事であった。早速その生徒がY君のところに来て謝罪したところ彼は、直ぐに「いいよ」と彼女を許した。

キリストは我々人類の為に十字架に付けられ身罷られました。最後の晩餐ではご自分の肉も血も弟子にお与えになり、十字架上ですべての人々の罪の許しを父である神にお願いされました。今十字架に架けて殺そうとしている人々の罪までも。

40数年知的障がい者と一緒にいたが、私が間違った時謝ると必ず「いいよ」と許してくれる彼等に感謝していた。

許しなさい。そうすればあなた方も許される。きっとT君もその医師達を「いいよ」と許し、今は天国で楽しく暮らしているであろうし、又、Y君もきっと人生を全うした後は天国へ行くであろう。さて、私はどうであろうか。



サレジアンシスターズ山中修道院

シスター 山田幸子

戦後70年以上を迎えた日本

第二次大戦中どれ程の人々が苦しみ亡くなられたことでしょうか。

今日は少し私の戦争体験を書いてみようかと思っています。今も北朝鮮では核爆弾を作っているようですが、一発の原爆がどれ程おそろしいものか体験いたしました。

私は長崎出身で中町教会の信者でした。長崎に原爆がおちた時小学生でした。その日は良い天気、夏休み中みなよろこんで遊んでいました。午前十一時すぎ飛行機の爆音が聞こえましたが、日本の飛行機と思い、家の戸口から顔を出した途端閃光があり祖母は顔を焼かれ一ヶ月後天に召されました。私たちは防空ごうに逃げ込み助かりましたがそれからの生活が大変でした。

中町教会の外側は鉄筋でしたので、中は燃えてしまいました。焼ける前に教会にいた教え方の方がご聖体を聖堂から取り出し胸に抱きしめて逃げて下さいましたのでそれを神父様があちこち歩き廻り聖体拝領させて下さいました。家を焼かれ防空ごうで生活していた私たちも聖体拝領が出来ました。今も信者の集まる大きな教会として長崎駅前に建っております長崎に巡礼される折にはどうぞおいで下さい。

後聖堂に勇気付けられ、今の自分があるものと感謝しております。



東日本大震災支援講演会

(福島第一聖書バプテスト教会牧師)

講師 佐藤 彰 先生

7年前の東日本大震災は千年に一度の災害になりました。

今では、防潮堤ができ、町も整備され風景も変わりつつあります。



私が知らなかった、福島第一原発から5キロの地にあったバプテスト教会の流浪の旅の話です。第一原発の爆発で避難指示が出て、着の身着のままでトラックに乗せられての避難。その後、教会員約70名が会津、米沢、そして奥多摩まで、大移動します。どの、場所でも温かい支援を受けますが、同じ教会員が祈りの中で生活出来る事と、少しでも暖かい方へという思いでした。

リーダーとなった佐藤先生の抱える不安、肉体も精神もぎりぎりだったそうです。そしてドイツ人の管理する奥多摩の福音の家キャンプ場に全員が温かく迎えられることとなります。そこで、村役場、地域の人達の惜しみない援助を受けながら半年以上を暮らすことが出来ました。佐藤先生のインターネットを通して世界に向けた発信も「一人で苦しまないで」と世界中からの援助も寄せられました。出来る事はすべてやる！決断と速さに感動です。

そして目標だった1年後に福島のいわき市に教会を建て、奥多摩のキャンプ場を卒業しました。帰宅困難地区となった大熊町に帰ることは出来ません。帰郷への思いを表した「翼の教会」は大熊町の方角を向いているそうです。不自由な生活の中、「上げ過ぎていた、幸せのハードル」を知ることができたとの言葉、話の内容に心揺すぶられる時間でした。

卒業式のシーズンです。当時の気仙沼階上（はしがみ）中学校の卒業生代表の言葉に感銘してインターネットからプリントして大切に持っているものがあります。「・・・天が与えた試練と言うには惨すぎるものでした。辛くて、悔しくてたまりません。しかし苦境にあっても天を恨まず、運命に耐え、助け合っていく事が私達の使命です・・・」15歳にして何と前向きで高潔な言葉でしょう。苦難の中で学ぶこと、それでも生き続ける事、たくさんの愛を受けたことなど神様が共にいて下さったのだと思います。

今、出来る事を、もっとも近くにいる必要とされるところで、分かち合えるようになりたいものです。

葉山 恵

日曜学校に通って・・・私が伝えたいこと



私は六年間日曜学校に通い神様のことをたくさん勉強しました。

その中で私がみなさんに伝えたいことが二つあります。

一つめは、小さい子や自分より弱い人を大切にする事です。例えば、私が小学校の時入っていた金管クラブでは、ジュースやお菓子をいただくときに上級生が優先されます。でも、日曜学校では、そういう時は必ず学年が下の子が優先されます。そして遊びなども小さい子に合

わせます。そして大きい子は小さい子の面倒をみるように言われます。それは私には当たり前のことです、だから大野あやかちゃんがいつも私の所に笑顔で来てくれることが嬉しいです。私もあやかちゃんくらいの時に、松島遥さんにもものすごく可愛がってもらったと、お母さんが話してくれました。そして、お母さんも小さい時に大きいお姉さんに面倒みてもらったそうです。こうやってつながっていくのが日曜学校なのかなと思います。

二つめは「ありがとう」です。

私は六年生になってから日曜学校にあまり行きたくなくなりました。そんな私にも、いつも誰かが「日曜学校においでよ」と言ってくれました。シスターやリーダー達が、卒業式には賞状やケーキを用意してお祝いしてくれました。また、東海林さんがかわいい聖書を東京まで、探しに行ってくれた話をきいて、“日曜学校に行かなくて悪かったな”と思いました。そして、今はあまり会えなくなっちゃったけど、私に「我慢できてえらいね」といつも優しく言ってくれた遠藤リーダー。

本当にありがとうございました。

中学校に行ったら、日曜学校のお手伝いをしていきたいと思います。

小佐野 真彩

3月18日（日）ミサ後、四旬節黙想会記録

サレジオ会管区長山野内倫昭神父様により行われました概要をお知らせ致します。

十字架の道行第5留 イエス、クレネのシモンの助けを受ける、パウロのフィレモンへの手紙オネシモ、イタリアの神父によって長い間毎週通って教えていた人が、神父の教えについての内容はわからないが、雪の道にタイヤ跡を見て、このようにしてまでも熱心に来て教えて下さることへの思いにこころを打たれて洗礼を受けた……。何かそこには「きっかけ」という大事なポイントである悟り（光り）がある！



アルゼンチンでの教皇様の就任以来の評価（アンケート）について、これはカトリック信徒だけではなく、他の宗教の方々も含まれていて、概ね良い評価を得ているが、特に「聖職者による性的暴力」などの今までカトリック教会内でタブー視されていた点にまで、メスを入れていることなども高評価の一因となっている・・・といった日本国内だけでなく、海外での話をされ現在のカトリック教会の現状を講話されました。

この後、山野内神父様・森田神父様による、告解の場を設けられました。

また、お昼ご飯（弁当）を頂きながら、山野内神父様と森田神父様の経験等を踏まえた、教会の現状（グローバル化による多国籍の方への寄り添い）などを楽しく語り合う時間を過ごすことができました。

教会委員会記録

3月4日 19名参加

1. 3～4月の典礼（こよみ参照）
2. 2017年度4回山梨教区宣教司牧委員会の報告
 - ・2018年度より教会委員長：白木神父様（メンバー変更は後日疑義録が出る）
 - ・神の愛を証しする部門：フードバンク・震災献金・古切手と未使用ハガキ等今後も実施
3. こびっとプロジェクトについて
 - ・東日本被災地支援講演会の多くの体験をされた、佐藤彰牧師のリアルな体験を聞いた機会があれば富士吉田カトリック（バプテスト教会と協力）で開催出来れば良い
 - ・2018年度被災地支援巡礼ツアー：5月11日（金）～13日（日）補助金支給2万円
4. 復活祭パーティーについて
 - ・森田神父様の送別会を兼て実施
 - ・食事手配は婦人部
 - ・司会：山本一孝
5. 2018年度活動について
 - ・6月17日（日）梅村昌弘司教様による堅信式準備：パンフレット、典礼作成20名へ案内状発送
6. その他
 - ・ホームページが先週から新しくなりました（個人情報取り扱い等確認検討する）

教会記録

逝去 神さまのもとでの永遠の安らぎをお祈りいたします。

◎ マリア アスンタ 清水 珠恵様（聖ヨハネ学園利用者）3月15日

異動 サレジアンシスターズ 山中雪の聖母修道院へ よろしく願いいたします。

◎ シスター^{よしひら}吉平 須美子 サレジアンシスターズ静岡修道院より

◎ シスター沼田 綾子 サレジアンシスターズ大分修道院より

お知らせ

東日本大震災支援の募金

東日本大震災支援の募金箱を、今日のミサの後に開けて集計しました。皆様の善意の募金の金額は、一年間で32,000円になりましたのでカリタスジャパンを通して、震災復興支援のために送金させていただきます。

ご協力ありがとうございました。

これからも風化されないように、富士吉田教会も寄り添っていきましょう。

こよみ



4月

- 1日(日) 復活の主日(祭日) ミサ9:30 パーティー(リズムホール)
 6日(金) 初金曜日 ロザリオ10:00 ミサ10:30
 8日(日) 復活節第2主日 神のいつくしみの主日 子供と共に捧げるミサ9:30
教会委員会 (聖堂掃除は日曜学校・河口湖・吉田地区)
 9日(月) 神のお告げ(祭日)
 11日(水) 手芸会 9:30
 14日(土) 聖歌練習 9:30
 15日(日) 復活節第3主日 国際ミサ9:30
 (聖堂掃除はインターナショナル・山中・忍野地区)
 22日(日) 復活節第4主日 世界召命祈願の日 ミサ9:30
 (聖堂掃除は吉田地区)
 25日(水) 聖マルコ福音記者(祝日)
 29日(日) 復活節第5主日 ミサ9:30
 2018年度第1回山梨地区宣教司牧委員会 甲府教会13:30
 (聖堂掃除は有志)

 イタリア語教室 月曜10:00(2, 9, 16, 23日)
 日曜学校8日(日)から 主日のミサ後~(8, 15, 22, 29)

5月

- 4日(金) 初金曜日 ロザリオ10:00 ミサ10:30
 6日(日) 復活節第6主日 世界広報の日(献金) ミサ9:30 **教会委員会**

4月のミサ奉仕

月日	先唱	聖体奉仕者	侍者	第1朗読	第2朗読	歌伴奏
1	東海林美佐子	山本一孝		福永好雄	宮本禮子	シスター
8	曾根美香	栗原今朝夫	天翔	江守香代子		シスター
15	江守香代子	—	正人	英語	?	シスター
22	江守香代子	山本一孝		志村好直	相沢千代子	シスター
29	東海林美佐子	東海林義夫		渡辺幹雄	猪俣瞳子	シスター